LAMP®

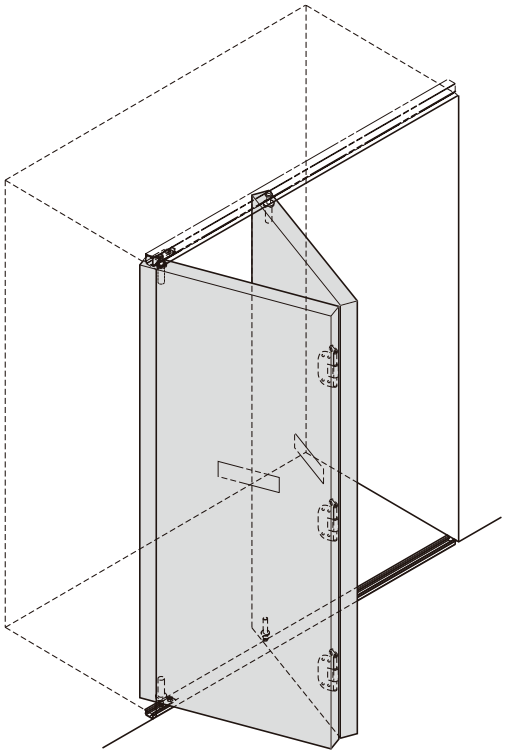
ピポット式折戸 FD30-F 上下ガイドレール仕様 吊元固定用

取付説明書
品　番：FD30FWP

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
取り付け後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 吊元固定タイプの屋内収納用折戸金物です。
- 上ピボッドには施工の良否を一目で把握するための赤線が入っています。



仕　様

扉幅	450mm 以下
扉高さ	2400mm 以下
扉厚	28mm 以上
扉質量（1 枚当り）	15kg 以下
扉上下調整範囲	上方向に 3mm

正しく安全に取り付けていただくために

⃠	**本記号はしてはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。**
❗	**本記号は、必ず従っていただく内容（強制、指示）であることを告げるものです。**

⚠ 警告　死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ❗ 本製品の取付工事は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行なってください。取り付けに不備があると、本来の性能が発揮できないばかりではなく、破損などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度のキャビネットを製作してください。
  また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⃠ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⃠ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

⚠ 注意　軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障や性能低下のおそれがあります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は家具を構成するための部品です。取付終了後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。（お使い始めから 1 ヶ月後と 6 ヶ月後、その後は 1 年ごとが目安となります。）

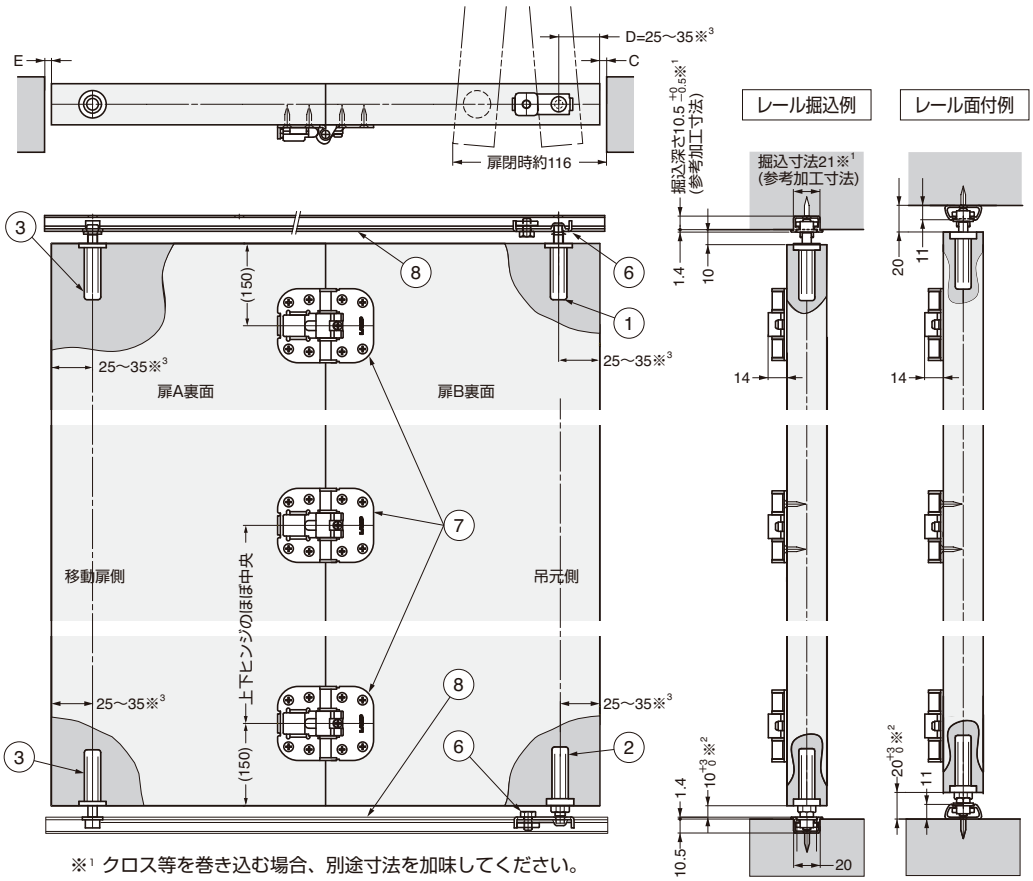
部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
品　名	上ピボット	下ピボット	案内ランナー	打込工具	折戸用スパナ	支持金具上下	センターヒンジ（面付用） 角度調整（＋2°、－1°）、37° 仮ストップ付
品　番	FD30-FTP	FD30-FBP	FD30-FGR	FD30-FSJ	FD30-FSP	FD30-FSK	FD30-CHM
部　品							付属： 十字穴付皿タッピンねじ 3.5×16‥‥8ヶ
2枚折戸×1組 収納部	1ヶ	1ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	3ヶ
2枚折戸×2組 収納部	2ヶ	2ヶ	4ヶ	1ヶ	1ヶ	4ヶ	6ヶ

No.	⑧	
品　名	ガイドレール（面付用）	ガイドレール（掘込用）
品　番	FD30-FBRM	FD30-FBRH
部　品	910/3640mm 穴ピッチ：300mm ピッチエンド：30mm 付属：十字穴付皿木ねじ 3.5×16	
2枚折戸×1組 収納部	面付用か掘込用を2本(上下各1本)	
2枚折戸×2組 収納部	面付用か掘込用を2本(上下各1本)	

寸法図

扉開口部寸法（扉厚 40mm、扉幅 450mm の場合）



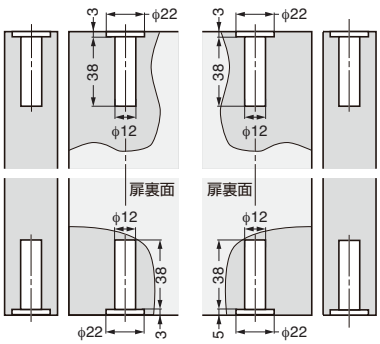
※1 クロス等を巻き込む場合、別途寸法を加味してください。
※2 扉の高さは0mmから＋3mmの範囲で調整可能です。
※3 上下のピボット軸の位置を合わせてください。

■枠と扉の最小すき間寸法

扉厚	吊元側のすき間 C（D=30 の場合）	左右のすき間 C+E（D=30、折戸 1 組の場合）			
		扉幅 300	扉幅 350	扉幅 400	扉幅 450
30	4.0	7.5	7.0	6.7	6.4
35	5.2	9.5	8.9	8.5	8.2
40	6.5	11.7	11.0	10.5	10.1

■扉の加工寸法

扉Aの加工寸法　扉Bの加工寸法



SUGATSUNE

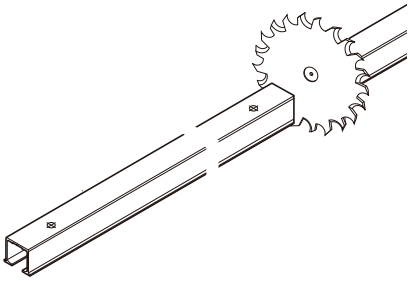
取付手順

1 取り付け前の準備、取り付け

1. ガイドレールの切断

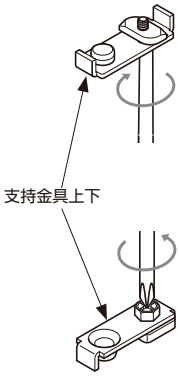
ガイドレールを必要な長さに切断してください。

⚠ガイドレールが変形しないようにレールの中に補強材などを入れて切断してください。



2. 部品の組み込みの準備

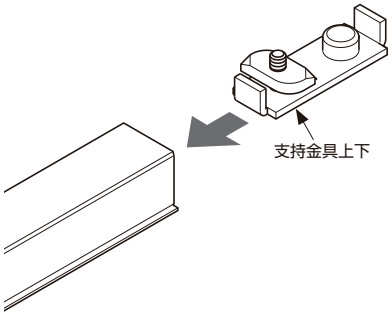
支持金具上下の固定ねじをゆるめてください。



3. 部品の組み込み

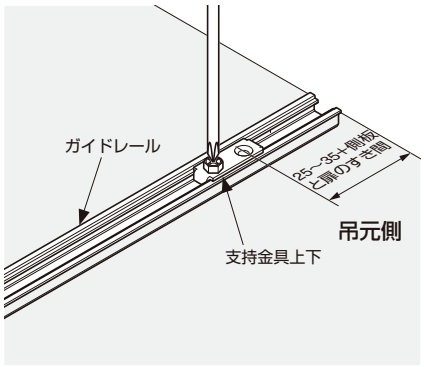
部品の向きに注意して支持金具上下を組み込んでください。

組み込んだ支持金具上下を仮止めし、部品を落とさないようにガイドレールを取り付けてください。



4. 支持金具上下の取り付け

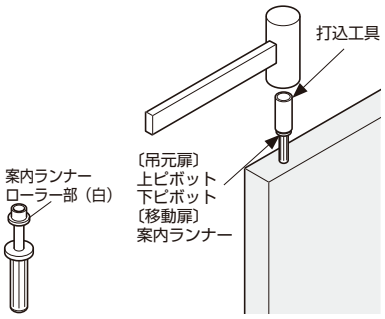
部品の向きに注意して支持金具上下を組み込み、下部にガイドレールを取り付けてください。支持金具下を吊元側の所定の位置に固定してください。



5. 上下ピボット、　案内ランナーの打込み

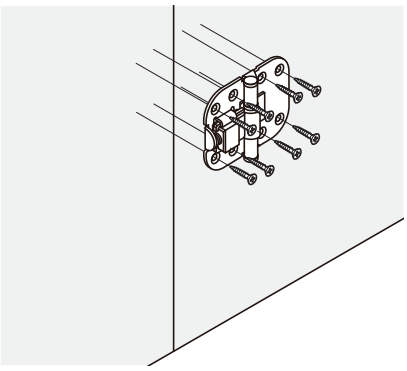
吊元扉の上部に上ピボット、下部に下ピボット、移動扉の上部と下部に案内ランナーを、加工穴に打込工具で打ち込みます。

⚠樹脂部分が割れないように注意して打ち込んでください。



6. センターヒンジの取り付け

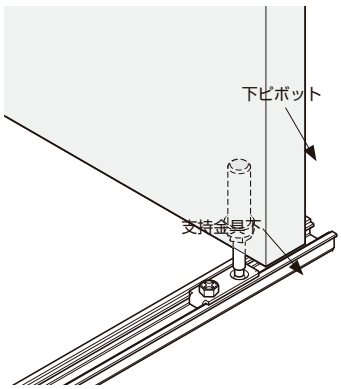
2 枚の扉を並べた状態で付属ねじでセンターヒンジの中心を扉上下から約 150mm 離し、ヒンジの回転軸の向きを合わせて取り付けてください。残りの 1 個 は上下のヒンジの中央に取り付けてください。

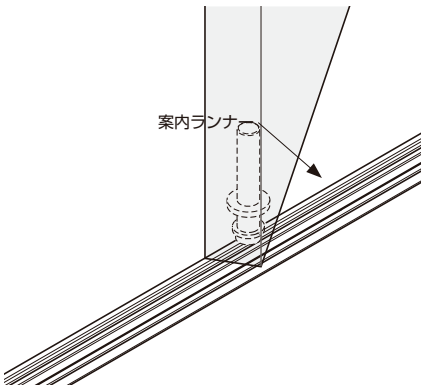


2 扉の吊り込み

1. 扉の吊り込み（扉下部）

支持金具上下の穴に、扉 B の吊元下部に取り付けた下ピボット軸の先端を乗せた状態で、扉 A の案内ランナーの先端をガイドレールの溝にはめ込んでください。



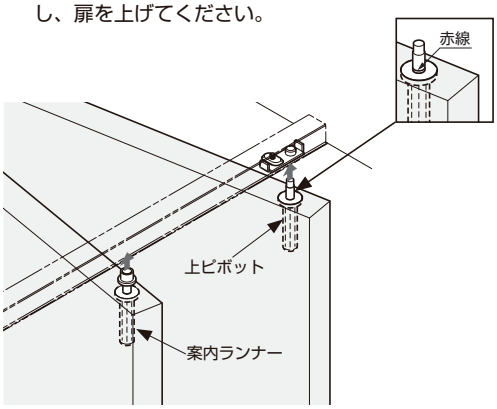


2. 扉の吊り込み (扉上部)

支持金具上下の穴に上ピボットの軸を差し込む際、移動扉の案内ローラーもガイドレールにはめ込んでください。

この時、上ピボット軸の赤線が支持金具の穴に入り、隠れていることを確認してください。

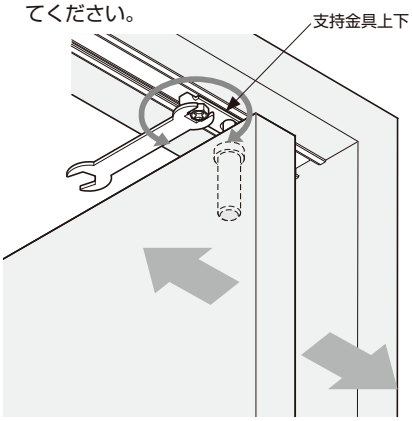
赤線が見えている場合、下ピボットのねじ部を回し、扉を上げてください。



3 扉の調整

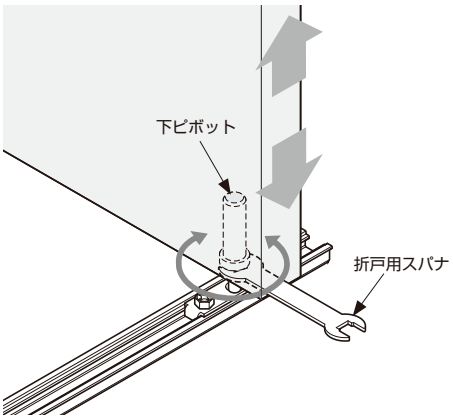
扉の傾き調整

扉の傾き調整は、支持金具上下の六角部を付属の折戸用スパナでゆるめて調整します。
枠と扉のすき間、扉の傾き、垂直を調整した後、それぞれのねじを締め付け、固定してください。



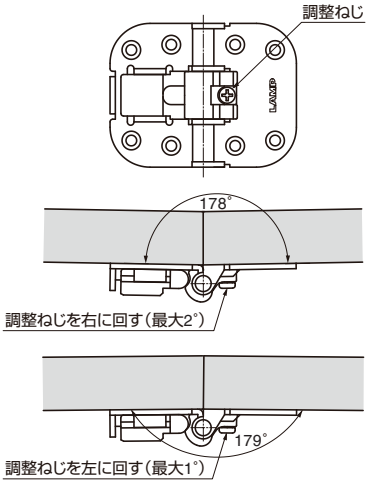
扉の高さ調整

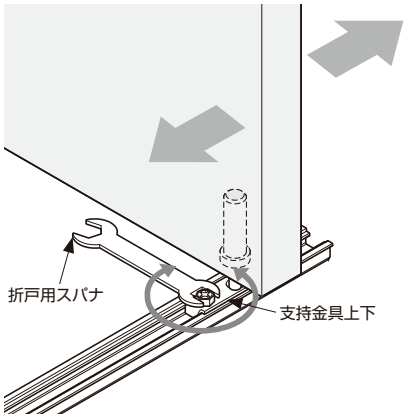
下ピボットの六角部を付属の折戸用スパナを使い調整してください。



センターヒンジの調整

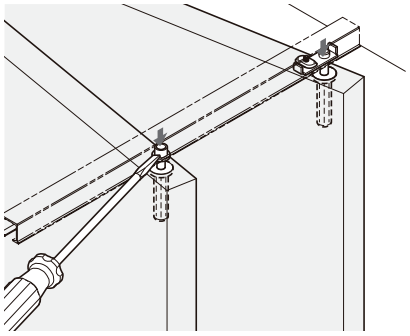
扉の納まりが悪い場合、下図のように調整ねじを回し調整してください。





扉の取り外し（扉上部）

扉を折り畳み、上ピボットの軸と案内ランナーの先端を押し下げ扉を外してください。



取付後の確認…ねじの締め忘れ、取り付け忘れのないことを確認してください。

定期点検	・上下レール内の掃除をおこなってください。 ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。　・ねじの緩みを確認し。増し締めを行ってください。

■困った時の対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	扉が隣接する箇所と摺っていませんか。	扉が隣接するものと摺らないように扉の調整をしてください。
	ガイドレール内にゴミやアルミの切粉が付いていませんか。	ゴミやアルミの切粉を取除いてください。
	案内ランナーのローラーにゴミやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	扉上部の上ピボット、案内ランナーの先端を下げ、一旦扉を外します。 案内ランナーのローラーを引き抜いてゴミや切粉を取除いてください。
	ガイドレールを取り付けているねじが緩んでいませんか。	案内ランナーのローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	床面に扉下面が摺っていませんか。	ガイドレールを取り付けているねじ、支持金具上下、およびセンターヒンジを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をして頂き、床面と扉下面との隙間が 10mm になるように調整してください。 （面付用ガイドレールの場合は 20mm）
	扉が隣接する箇所と摺っていませんか。	扉が隣接するものと摺らないように扉の調整をしてください。
	扉に反りが発生していませんか。	反りのない扉をご使用ください。
扉が開閉しない	ガイドレールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	案内ランナーのローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

電話番号 03（3864）1122
受付時間　月～金　9:00～17:30（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03（3863）6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー
ISO 9001（JSAQ384）・ISO14001（JSAE597）審査登録
※ISO9001：国内各拠点　※ISO14001：千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/
2015.05 0559-2